

今月の Pick Up

編集室がピックアップした旬な話題をお届け！
詳しくは各ホームページをご覧ください。

01 7月から市役所の窓口業務時間を短縮します



7月1日(水)から市役所の窓口業務時間を短縮します。

6月30日(火)まで 8時30分～17時15分

7月1日(水)から
9時～16時30分



対象庁舎

- 市役所本庁舎 ●第二庁舎
- 総合あんしんセンター
- たかじょう庁舎 ※選挙管理委員会(3階)は除く
- 上下水道局本庁舎

上記以外の庁舎および公共施設の窓口業務時間は変更しません。

【問い合わせ】行政改革推進課 ☎ 823-9071

02 7月から一部の市民会館で日曜日は休館となります



7月1日(水)から、朝倉市民会館・潮江市民会館・一宮市民会館・長浜市民会館は日曜日が休館になります。各市民会館の開館日・開館時間など、詳しくはホームページをご覧ください。

市民会館は、人権に対する理解を深めるための活動等を行っています。



【問い合わせ】人権同和・男女共同参画課 ☎ 823-9449

03 高齢者带状疱疹ワクチンの定期接種を実施します



今年度の対象者には4月上旬に予診票を発送しています。接種義務はありませんので、効果と副反応についてご理解いただき、接種を検討ください。



おわび

対象者にお送りした通知文書のうち、「高齢者带状疱疹定期接種実施医療機関一覧(高知市内)」の医療機関名の記載に誤りがありました。高須地区の医療機関名「n」と記載されている箇所は、正しくは「高知厚生病院」です。おわびして訂正します。正誤表など詳しくは、地域保健課HPをご確認ください。



対象者	市に住民登録があり、次の①②のいずれかに該当し、接種を希望する方 ※過去に任意接種を完了している方は原則対象外となります。	
	① 65歳になる方 ※令和7年度から5年間の経過措置として、その年度内に70・75・80・85・90・95・100歳になる方も対象となります。	
	② 60歳以上65歳未満で、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)による免疫機能に重い障害がある方(身体障害者手帳1級相当) ※対象者②および実施期間中に転入された方はお問い合わせください。	
実施期間	4月1日～令和9年3月31日(水) ※実施医療機関の休診日を除く。	
ワクチンの種類	生ワクチン「ピケン」(阪大微研)	組換えワクチン「シングリックス」(GSK社) (原則2カ月以上の間隔をあける)
予防効果持続期間	5年程度	10年程度
接種回数	1回	2回
接種費用	3,000円	1万4,000円(1回当たり7,000円)
	※実施期間を過ぎると全額自費	
申し込み	県内の実施医療機関へ直接予約 ※実施医療機関は、地域保健課HPまたは市コールセンター(☎ 822-8111)で確認できます。また、医療機関によって、取り扱うワクチンが異なります。詳しくは、医療機関へ確認してください。	

【問い合わせ】地域保健課 予防接種・感染症対策室 ☎ 821-6514



江ノ口川の堤防沿いを彩る初夏の花・タチアオイ。真っすぐと天に向かって伸び、ピンクや白色の花を咲かせる姿は青空によく映えます。

DATA ■ 2024/5/18
PLACE ■ 桜井町



高知市人事課「職員採用情報」

アクセスはこちら▶



職員採用試験やインターンシップ参加者の募集情報など、市職員の採用に関する情報を中心に発信しています。興味がある方は、ぜひご覧ください。

高知市の人口と世帯

令和8年4月1日現在

人口(前月比) ▶ 30万6,820人(-1,078人)

男 14万3,598人(-471人)

女 16万3,222人(-607人)

増加 出生114人 転入等1,835人

減少 死亡354人 転出等2,673人

世帯(前月比) ▶ 16万3,461世帯(+66世帯)



市らんく 元気人! Vol.38



profile >>> かずさ まりや Mariya Kazusa (32)

高知市出身、高知工科大学卒業。編集者・フォトグラファー。手がけた『日曜市の歩き方マップ』は若い世代や観光客にも評判となった。現在『仁淀川の楽しみ方マップ』を市内書店で販売中。

高知の魅力をより深く、多くに届けたい

自らが企画・編集に携わった冊子を手に微笑みかずささん。大学在学中に経験した出版社でのインターンがきっかけで、広島に就職。2019年にUターンしました。「いつか高知に戻ります」と宣言して就職したほど、「人がおおらかで温かい」地元が大好きだそうです。

そんなかずささんはさまざまな広報物の編集や商品パッケージのディレクションを手掛ける傍ら、「若い人にもっと高知を好きになってほしい」と、インスタグラムでの情報発信を始めました。さらに、「自分の感じている高知の豊かさを共有したい」と、一昨年に『日曜市の歩き方マップ』を、昨年は『仁淀川の楽しみ方マッ

プ』を仲間と自主制作。『日曜市の歩き方マップ』は地元書店で売り上げ一位にもなるなど、若い世代に限らず多くの人に、高知の魅力を届けることができました。

「広報物は『浅く広く』という考え方もありますが、これまでの制作を通じて、『似た価値観の人たちに深く伝える』ことの面白さも学びました。次は動画での情報発信に挑戦したいそうで、「いろいろな人といろいろなものを作りたい」と笑いかずささんの作り出す新たなコンテンツが楽しみです。

▶日曜市散策ツアーのガイドをしました。(写真左)

